



# NEWS RELEASE

株式会社 **サッポロライオン**

〒104-8536 東京都中央区八丁堀 4-3-3 Daiwa京橋ビル

14010

## ～銀座七丁目店創建 80 周年・狸小路店開業 100 周年記念～ 景品総額 1,000 万円相当！ 「カンパイ！ハッピーくじ！」キャンペーン開催



株式会社サッポロライオン（本社・東京、社長・刀根義明）は、ビヤホールライオン銀座七丁目店の創建 80 周年とビヤホールライオン狸小路店の開業 100 周年を記念し、さまざまな周年記念イベントを開催します。

周年記念イベントのひとつとして、対象期間中サッポロライオンチェーンをご利用いただくと、お会計 3 千円ごとに「ハッピーくじ」を 1 枚進呈する、「カンパイ！ハッピーくじ！」キャンペーンを開催します。

旅行券 5 万円分や全国のサッポロライオンチェーンでご利用いただけるご飲食券 3 万円分、和牛すき焼き用肉セット（1 万円相当）など、総額 1,000 万円相当の各種景品をご用意しています。

なお、ビヤホールライオン銀座七丁目店は本年 4 月 8 日で創建 80 周年、またビヤホールライオン狸小路店は本年 5 月 1 日で開業 100 周年を迎えます。

### 記

#### 1. キャンペーン名及び実施内容

名 称：カンパイ！ハッピーくじ！

内 容：対象期間中、全国のサッポロライオンチェーン（対象店舗約 130 店舗）をご利用いただくと、お会計 3 千円ごとに抽選番号が記載された「ハッピーくじ」を 1 枚進呈します。

#### 2. 配布期間

2014 年 4 月 1 日（火）～4 月 7 日（月）の 7 日間

#### 3. 当選番号発表日

2014 年 4 月 8 日（火） ※ビヤホールライオン銀座七丁目店の誕生日

※各店舗の店頭及び当社ホームページ上 (<http://www.ginzalion.jp/>) にて発表します。

#### 4. 景品内容



**特賞** 旅行券  
**50,000 円分**

特賞  
前後賞

**ライオンご飲食券 30,000 万円分**

2等

**和牛すき焼き用肉セット 10,000 円相当**

3等

**ライオンギフトセット**

（エイジングビーフステーキ用肉・生ハム・ソーセージ詰め合わせ）

4等

ライオンご飲食券 5,000 円分

5等

ライオン割引サービス券 1,000 円分

ハッピー賞

生ビール(小グラス) 一杯券



2等イメージ。景品はお肉のみです。  
鍋、野菜はついていません。

以上

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

報道関係の方	経営戦略部（西村 礼佳）TEL：03-6222-5183 / E-mail：kouhou@sapporo-lion.co.jp
一般の方	お客様相談センター TEL：0120-848-136

# ビヤホールライオン銀座七丁目店 創建80周年



昭和9年竣工当時の様子



昭和9年4月8日、大日本麦酒(株)の本社ビルとして竣工した当ビルの1階にて、ビヤホールが開店しました。

ビル及びビヤホールの内装は、当時としては贅をつくし、工夫を凝らした造りとなっており、建築家を含め多くの人から絶大な賞賛を集めました。

店内は「豊穡と収穫」をコンセプトに、大麦や葡萄をモチーフとした装飾が施され、誰もがゆったりと生ビールを楽しむ雰囲気となっています。



昭和20年代接客当時の様子

戦後の女性の社会進出とともに、ビヤホールにも女性のお客様が多くなりました。今では、女性同士でジョッキを傾ける華やかな光景が日常となりました。

戦時中空襲により多くのビヤホールは焼失または疎開のため取り壊されましたが、当ビヤホールは空襲を免れ、昭和20年9月から昭和26年末まで進駐軍専用のビヤホールとして接客され一般の方は入れませんでした。



昭和50年代の店内の様子



現在の店内の様子

厨房機器など一部は時代に合わせ改良されていますが、店内の内装は創建当時の姿のまま今も変わりません。親子3代でご利用いただくなど、時代を超えて多くのお客様からご愛顧いただいています。

# ビヤホールライオン狸小路店 開業100周年



大正3年開業当時の様子



明治44年、ビール会社が委託経営にて開業したビヤホールが狸小路2丁目に開店しました。この委託経営時代の資料は残っておらず、実質的な直営営業を始めたのが大正3年5月1日であり、これを「ビヤホールライオン狸小路店」の開業日と位置づけています。

当時は近隣に他社のビヤホールが数軒軒を並べており、しのぎを削っていたそうです。また当店のウェイトレスが首から鞆を下げて食券を売り歩いていたという話は、オールドファンから語り継がれています。



二代目外観



昭和30年代の店内の様子

現在の店舗は、三代目として昭和35年に建替えられたものであり、今に至ります。店頭2階のベランダに立つのは、昭和53年から親しまれているカラクリ人形「ライオン男爵」です。以前は「ウィーンの音楽時計」の曲にのり、1時間おきに鮮やかな飲みっぷりを披露していました。



開業60周年イベント時の様子



店頭のカラクリ人形「ライオン男爵」

「直営ビヤホール」「サッポロビヤホール」「狸小路ビヤホール」など店名や建物の様子は時代とともに変化していますが、100年前から同じ場所で営業している当店は、札幌市内で現在営業しているビヤホールでは最も歴史が古い店として、今も多くのお客様からご愛顧いただいています。